

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》呉 秀娟（非）

【概 要】

ゼロからの学習者を対象とする。中国語の発音とその表記法（ピンイン）を学び、特に四声に関して、徹底した指導を行なう。その際、学習者に苦手意識を持たせぬよう、日常に役立つフレーズや文法事項を分かり易く解説しながら、学習者が中国語を話すことに楽しさを感じられるよう留意する。また、語学的指導以外に、日本と中国の文化や習慣の違いなどについても、両者を比較しながら紹介してゆく。

【学習目標】

- ・中国語の発音とその表記法を理解し、初歩的な会話ができることを目標とする。
- ・中国語の初歩的な語彙や文法、表現法を理解し、身につけることを目標とする。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	ガイダンス	中国語とは？	呉
2	発音①	声調（四声）の発音／轻声の発音	呉
3	発音②	単母音の発音	呉
4	発音③	複母音の発音	呉
5	発音④	子音の発音（1）／簡単な挨拶	呉
6	発音⑤	子音の発音（2）	呉
7	Aの部分	声調記号の付け方／nとng発音／三声の変調	呉
8	Bの部分	数字（0～10）／数詞述語文／疑問詞疑問文	呉
9	Cの部分	人称代名詞／動詞述語文／助詞“吧”	呉
10	Dの部分	名前の聞き方・答え方	呉
11	昼食会①のA	指示代名詞／形容詞と形容詞述語文	呉
12	昼食会①のB	“吗”疑問文／否定を表す“不”と変調	呉
13	昼食会②のA	正反疑問文	呉
14	昼食会②のB	選択疑問文／名詞句	呉
15	まとめ	前期の総復習	呉

【評価方法】

レポート60%、平常点（授業への取り組み・小テストの成績や課題の取り組みなど）40%

【備 考】

教科書：董燕・遠藤光暁著『ともだち・朋友―スリム版1―』（朝日出版社、2010年）

参考書：必要に応じて授業中に紹介・説明する。

その他：基本的に教科書に沿って進むが、適宜プリントも配布する。
中国の伝統文化や現代中国事情についても、DVDを使用しながら適宜紹介する。

【学習の準備】

各回授業外学修時間は変わるが、平均すると各回40分程度の予習・復習が必要である。授業で習った単語・表現は、教科書付属のDVDとCDを活用しながら復習すること。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP5,4